

初級レベルにおける学習者の動機付けの向上をめざした試み 価値観理解による言語と文化の相乗学習効果

松本一美 (ボールステイト大学)
高宮優実 (アラバマ大学バーミングハム校)
立見尚文 (ブラウン大学)

要旨

米国の高等教育機関における外国語履修者の減少が問題となる中、「価値観」の理解が日本語学習を継続していく上では重要であると考えられる。本稿では、深層的文化の根源となる価値観の学習を日本語の学習に組み込むことにより、学習者の動機付けがどのように変容するかを検証した。

米国の大学における初級学習者を対象に、英語で書かれたオリジナル副教材を用い、日本的な価値観の理解促進を促す活動を1学期実施した。教材は「我慢・忍耐」に関する概説、歴史的背景、日本在住者へのインタビュー、メディア(絵本、教科書、漫画・アニメ等)や会話コーパスに反映される価値観の検証で構成される。データには、①動機づけに関するアンケート調査、②電子掲示板と対面での議論、③学習者への学習後のインタビューの3点が含まれる。

結果、言語と同時に価値観を学ぶことで、言語学習の動機が向上するだけでなく日本文化への興味も深まることがわかった。

キーワード：価値観、学習動機、日本文化への興味、初級コース

1 はじめに

現在、米国の高等教育機関における外国語履修者の減少が問題となっており、Modern Language Association (MLA) による報告書 (Lusin, Peterson, Sulewski, & Zafer, 2023) で詳細が明かにされている。それによると、2016年から2021年にかけて、米国では外国語の履修率が15.3%減少し、これは、調査史上最も大きな減少率となっている。特にスペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語といったヨーロッパ言語においてその傾向は顕著であり、平均して20%ほど減少している。韓国語は、K-POPや韓国ドラマなどポップカルチャーへの注目度が高まった影響を受け、履修率が増加傾向にあるが (Quinn, 2023; Fischer, 2023)、これは一部の例外的なものに留まり、全体の傾向としては減少傾向にあることは間違いない。

一方、日本語の履修率の減少幅は、ヨーロッパ言語に比べると比較的緩やかではあるものの、明かに減少傾向が見られる。2021年には、日本語の履修者数は約66,000人で、これは2016年と比較して、4.6%ほど減少している (Quinn, 2023)。このため、日本語の学習者増加を目指す取り組みは急務だと言えるだろう。

一方、2021年に実施した調査をもとに国際交流基金が刊行した『2021年度 海外日本語教育機関調査報告書』(2022)によると、アニメ・漫画・J-POP等への興味が学習動機であるケースは非常に多く、全体の92%に上る。しかしながら、これらの表層的文

化への興味は、日本語学習を始めるきっかけとはなるが、近年求められている異文化理解と受容に多分に影響する「価値観」の理解には繋がりにくいのではないだろうか。そこで本研究では、深層的文化の根源となる価値観の学習を言語学習に組み込むことにより、日本的な価値観の理解促進を促し、それが日本語学習者の動機付けにどのような変容を与えるかを検証した。

2 参加者

本プロジェクトには、米国中西部・南部の州立大学2校の日本語専攻プログラムで初級日本語を学ぶ50名の学習者が、1学期間参加した(表1)。参加者の母語は、英語(47名)、韓国語(1名)、フランス語(1名)、中国語(1名)、ハーカーチン語¹(1名)で、英語母語話者の中には2か国語を母語とする参加者もいた。母語が2言語である場合の内訳は英語とスペイン語が2名、英語と韓国語が1名、英語とハンガリー語が1名だった。また、参加者の国籍は、アメリカ国籍が45名で、韓国国籍が1名、ハンガリー国籍が1名、中国国籍が1名、メキシコ国籍が1名、ミャンマー国籍が1名であった。本研究では、その中からアンケートに回答した35名の回答を詳細に分析し、明かになったことについて報告する。

表1：参加者が履修したコースとその登録数

日本語レベル	人数	コースタイトル
初級（100番台）	50名	Introductory Japanese I Beginning Japanese I

3 研究方法

3.1 教材

主教材として使用している言語の教科書は「初級日本語 げんき1【第3版】」(2020)と『オンラインで学ぶ日本語 Learn Japanese Online (LJO)』(2021)²であるが、今回の価値観の学習を行う上で、どちらの教材も十分とは言えない。そこで、我々が作成した副教材を使い、文化理解促進活動を行った。テーマは筆者の間で話し合った結果、「我慢・忍耐」と「遠慮」の2つに決まった。当初は「ウチとソト」や「上下関係」なども候補に上がったが、そういった概念は敬語の導入時に説明することが多い。それらに対し、「我慢・忍耐」や「遠慮」は言語のクラスで扱う機会が比較的少ないと判断し、今回はこの二つを選んだのである。

その教材は概説、歴史的背景、日本在住者へのインタビュー、絵本・小中学校の国語や道徳の教科書や、街中の掲示物、会話コーパスに反映される価値観の検証で構成される(付録1参照)。また、内容質問やディスカッションの質問も準備し、課題として電子

掲示板に投稿させたり、クラスでディスカッションをする際に用いた(付録2参照)。

3.2 手順

前述した文化理解促進活動の手順としては、初めに学習者は我々のオリジナル副教材を読み、その読み物に関する意見と、読み物内の質問に対する回答を電子掲示板に投稿し、クラスメートが投稿に対してコメント欄を利用してコメントをした後、クラス内で話し合いを行った。

質問は本文の理解度を確認する内容質問と、その本文に即して作成したディスカッション用の質問の2種類を用意した。筆者の一人が候補となる質問を多数作成し、筆者間での投票後、選ばれたものだけを掲示板やクラスで使用した。

また、一つの読み物を3分割し、それぞれの部分についてこの一連の活動を行ったため、テーマ一つに対して3回行ったことになる。そして、この一連の活動は全体の成績の15%~20%程度の割合に相当する。

3.3 電子掲示板での質問と回答

本稿では「我慢・忍耐」のテーマに関する電子掲示板での質問と回答を紹介する。掲示板としては学習管理システムであるCanvasを使用し、学習者はそこに設けられた質問に回答を投稿し、それを読んだ他の学習者がコメントした。内容によって、問題数には多少増減の幅があるものの、基本的に踏襲される質問形式としては、読み物の内容に関する質問が3問、ディスカッションが3問程度である(付録2参照)。また、クラス内のディスカッションでは、これらと同様の質問をしながら、学習者から出る意見に応じて、教師主導で、さらに幅広い質問を追加していった。

3.4 データ

本研究では学期中にアンケート調査を3回、そしてインタビュー調査を1回行った(表2参照)。いずれのアンケートもQualtricsを使用し作成したもので、オンラインで実施した。1番のアンケートのみ学期の初めに行い、それ以外のデータ収集はすべて学期の最後に行った。つまり、文化理解促進活動前に1番、そして文化理解促進活動後に2~4番のデータ収集を行ったことになる。なお、学習者の母語や留学経験等の背景情報に関する質問は1番のアンケートの最初に組み込んだ。

表2にある1番と2番のアンケートは基本的に同じ内容で、日本語の学習動機や「我慢」と「遠慮」に関する質問を含む。これらは文化理解促進活動前と後の学習者の回答を比較するため、学期の初めと終わりに同じものを実施した。次に、3番のアンケートは1番・2番のアンケートとは別のものだが、その詳細は後述する。最後に、日本の価値観に関してより深く学習者の意見を引き出すために、宿題の提出率がよく、授業にまじめに取り組んでいる学生を対象に、研究者とのインタビューを実施した。

表 2：調査の時期、内容、形式

#	時期	内容	形式
1	学期初め	学習動機と日本文化に関する考え方	アンケート
2	学期末		
3		日本の価値観	
4			インタビュー

今回、主に 3 番のアンケートと 4 番のインタビューをデータとして使用した。以下はそのアンケートの質問になる。

1. 日本文化に対する興味の度合いが変りましたか
2. 日本語に対する興味の度合いが変りましたか
3. より日本文化学習への動機の強さが変りましたか。
4. 今後の日本語学習への動機の強さが変りましたか？
5. 日本文化の理解の度合いが変りましたか。
6. 日本語の理解の度合いが変りましたか。
7. 通常の言語のみにフォーカスを置いたコースと比べて、日本語のコースで、我慢と遠慮という日本文化を併せて学んだことで、日本語コースへの満足度の度合いが変りましたか。
8. 我慢・遠慮以外の様々な日本の価値観を今後履修する言語コースで学びたいと思いますか。

選択肢はマイナス 5 からプラス 5 まであり、数値を選び、その数値を選択した根拠を自由記述で答えてもらった (例 1 参照)。何も変化がない場合はゼロを選択し、少しでも向上したと考えた場合はプラス、そうでない場合はマイナスを選択するという形式にした。また、最後の「今後も価値観について学びたいか」という質問についてのみ、Yes/No で回答し、その理由を記述してもらった (例 2 参照)。

例 1

Q3

Has your **degree of interest in Japanese culture** changed through readings and discussions on "Gaman: patience" and "Enryo: restraint"? **0= No Change

Decreased -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 Increased +5

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

Q4

Explain the reason for your response to Q3

例 2

Q17

Do you want to learn various Japanese values other than "Gaman: patience" and "Enryo: restraint" in your future language courses?

☐ Yes
☐ No

Q18

Explain the reason for your response to Q17

4 結果と考察

前述したように「我慢・忍耐」と「遠慮」の2つのテーマで文化理解促進活動を行った後、アンケートとインタビュー調査を実施したわけだが、本稿では主に「我慢・忍耐」に焦点を当てて結果と考察を述べる。

4.1 結果 1 : 動機付けに関するアンケート調査の分析 (選択問題)

図 1 は表 2 の 3 番、つまり文化理解促進活動後に実施したアンケート調査における選択問題の結果を表したグラフで、日本文化、及び日本語への興味、日本文化と日本語に対する学習動機、文化理解の増加、言語理解の増加を表し、最後はコースの満足度を表している。また、選択肢はマイナス 5 からプラス 5 で、何も変化がない場合はゼロを選

択している。このグラフをみると、文化に対する興味、学習動機、理解度が、言語を上回っていることが分かる。前述した国際交流基金『2021年度 海外日本語教育機関調査報告書』(2022)にもあるように、やはり表層的文化への興味が日本語学習を始めるきっかけになっているようである。

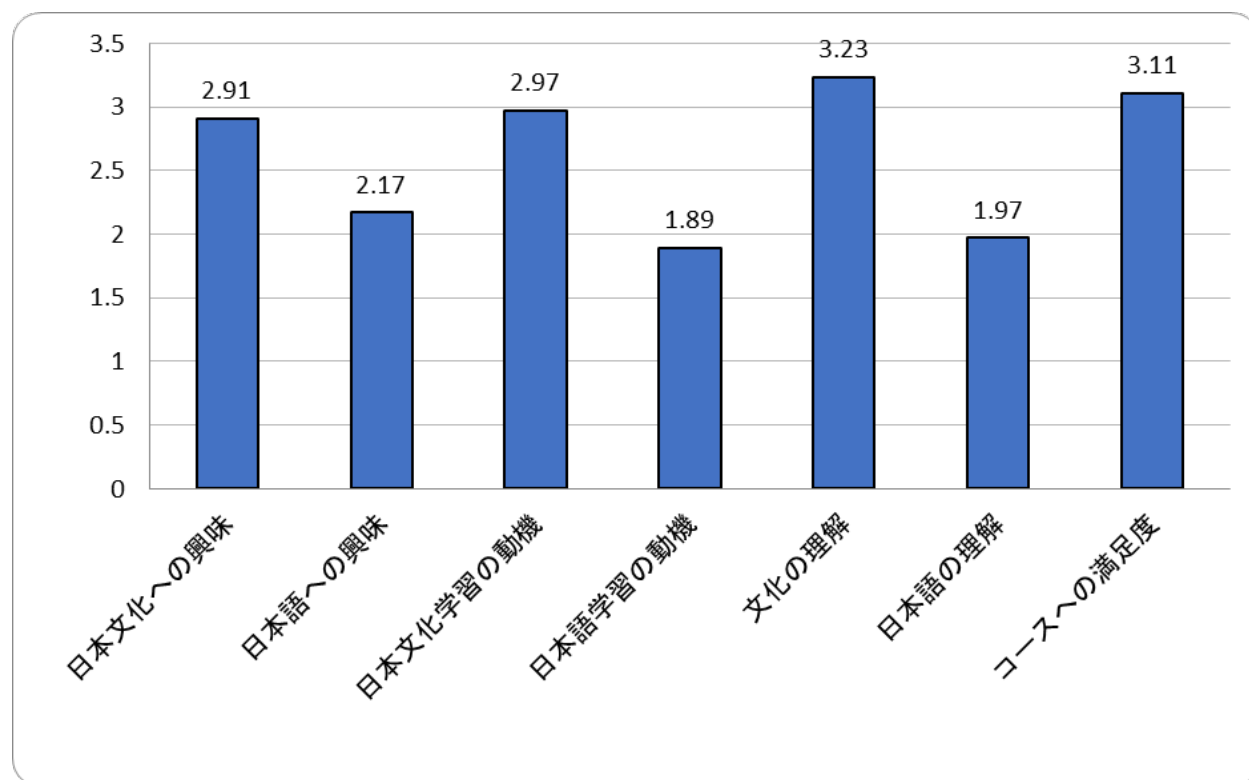


図1：動機付けに関するアンケート調査の結果(選択問題)

図2は各学生がどの数値を選択したのかを表示したものである。これをみると、マイナスはほんの数回で、ほとんどはゼロ以上だった。この結果から、言語と同時に価値観を学ぶことで、言語学習の動機が向上するだけでなく日本文化への興味もさらに深まると言えるだろう。

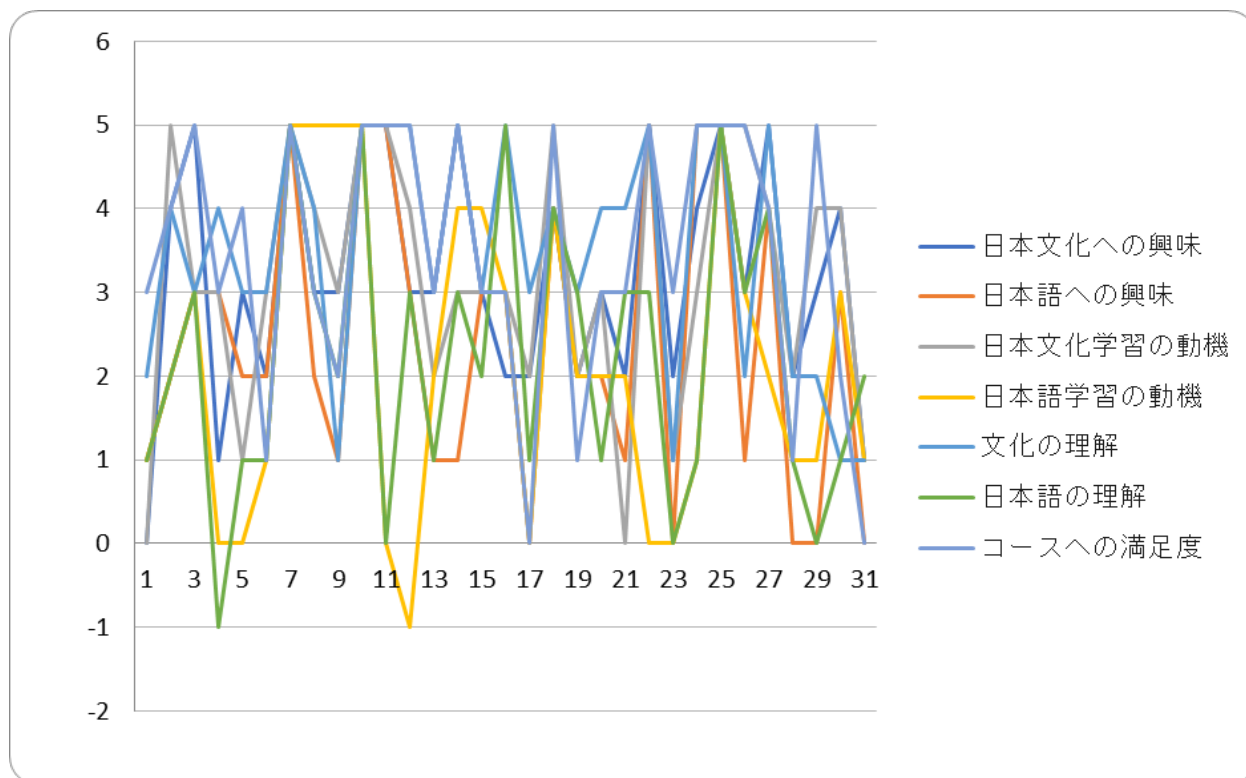


図 2：数値の分布

4.2 結果 1：動機付けに関するアンケート調査の分析 (自由記述、35 名)

ここからは、自由記述の回答を日本文化、日本語、コースの満足度と価値観学習への興味の 3 つのカテゴリーに分けて、紹介し、考察もしていく。

4.2.1 日本文化に対する興味、学習への動機、理解度の変化

まず、日本文化への興味、学習への動機、理解度に関しては、大多数の意見が肯定的だった。例として+5 と+3 を選択した回答者の自由記述をいくつか紹介する。

表 3 にあるように、読み物とディスカッションから多くを学び、日本の価値観について深く考えるきっかけとなったという回答が多かった (下線は筆者によるもの)。また、中には自分の文化と日本の文化の明確な違いに気づいたという回答もあった。

同じ回答者ではないが、こういった気づきは電子掲示板への投稿にも見られた。ある学習者は価値観の読み物を読んで、以下のコメントを残した。

“... there isn't nearly as much emphasis on patience or endurance; Endurance is only really discussed when referring to achieving personal goals.”

この学生は、アメリカでは我慢や忍耐をあまり重要な価値として考えておらず、アメリカの「我慢」とは自分のゴールを達成するためにするものであって、他人を配慮してするものではないと述べている。これは日本人の「我慢」とアメリカでの「Endurance」

の違いへの気づきを表していると言えるだろう。

表 3：日本文化への興味、学習への動機、理解度に関する参加者のコメント

+5	学生 A (理解度)	“I would say definitely, <u>I have learned so much from just the few readings we have done</u>. It makes me wish we had done more reading exercises. I learn a lot better from doing those and having discussion questions. I really like how the discussion questions challenge our thinking and allow us to see how others think. It feels very much like a scholars class.” (私は絶対そう思います。<u>今までの読み物から非常に多くのことを学びました</u>。もっと多くの読書課題があれば良かったと思います。そうすることで、私はもっと多くを学ぶことができ、討論の質問を思いついたことでしょう。討論の質問が私たちの考え方に挑戦し、他の人がどのように考えているかを知ることができるのが本当に好きです。まるで学者のクラスのように感じます。)
	学生 B (興味)	“Doing the readings and discussions has allowed me to be more immersed in the Japanese culture and <u>become more aware of the clear differences between my culture and Japanese culture</u>.” (読書と討論を通じて、日本文化により深く触れることができ、<u>自分の文化と日本文化の明確な違いに気づくようになりました</u>。)
+3	学生 C (興味)	“After learning a bit about Japanese culture it <u>made me want to learn even more</u>. I always knew basic things that are shown on tv or talked about, but this gave me a new perspective.” (日本文化について少し学んだ後、<u>もっと学びたいという気持ちになりました</u>。テレビや話題で取り上げられる基本的なことは知っていましたが、私は今回の学びを通して新しい視点を得ました。)

4.2.2 日本語に対する興味、学習への動機、理解度の変化

次に、日本語に対する興味、学習への動機、理解度に関しても、全体的に肯定的な意見が多かった。表 4 ではプラスを選択した回答者とマイナスを選択した回答者の例を紹介する(下線は筆者によるもの)。

表 4 にあるように、日本文化を学ぶことが日本語の理解の助けとなり、学習の動機づけにもなるようだ。また、今回「我慢・忍耐」の漢字を一字ずつ細かく意味を確認し、語源についても学ぶことが、漢字学習への興味につながったという意見もあった。しかしその一方で、モチベーションが下がったという学生もいた。これは教材の内容ではなく、読み物や掲示板への投稿といった課題が学生の負担になってしまったのが原因のようである。

表 4：日本語に対する興味、学習への動機、理解度に関する参加者のコメント

+5	学生 A	“<u>The way kanji is used and viewed is so fascinating to me</u>, I am very scared of kanji because it is very overwhelming but I think that being able to know all the meanings of kanji is amazing.” (漢字の使われ方や見られ方はとても魅力的です。漢字は非常に圧倒されるので怖いですが、すべての意味を知ることができるのは素晴らしいと思います。)
	学生 B	“I have definitely understood more about the language, as I believe <u>understanding the culture allows me to understand the language even more.</u>” (文化を理解することで言語をさらに理解できるようになると思うので、私は言語について多くのことを理解できたと確信しています。)
+4	学生 D	“I’ve been motivated to continue learning Japanese since I started, and <u>knowing that I’ll have more opportunities to learn about culture helps further that motivation.</u>” (日本語を学び始めて以来、さらに学び続ける意欲が湧いていますし、<u>文化について学ぶ機会が増えると知ることで、その学習意欲がさらに高まります。</u>)
-1	学生 E	“I like learning Japanese, but my motivation has decreased as the <u>workload is heavy and it is somewhat difficult.</u>” (日本語を学ぶのは好きですが、<u>課題が多くて難しい</u>ため、モチベーションが下がってしまいました。)

4.2.3 コースの満足度と価値観学習への興味について

表 5 はコースの満足度と価値観学習への興味についての参加者のコメントの例を紹介したものである(下線は筆者によるもの)。コースの満足度は+5 を選択した回答者のコメント、そして価値観学習への興味の方は選択肢が Yes か No のため、多数派の Yes を選んだ回答者のコメントを紹介する。

表 3 と 4 で紹介したコメントと同じく、コースの満足度に対しても肯定的な回答が多かった。中には文化学習が言語学習と同じくらい大切だという意見があった。また、価値観学習への興味に関しても、94.3%の回答者が Yes と答えた。価値観を学ぶことで日本文化、及び社会のさらなる理解に繋がり、それが言語理解の助けになったという意見があった。どうやら、言語と同時に価値観を学ぶことには相乗効果があるようだ。多くの学習者にとって、日本文化への興味が日本語学習への動機に繋がることを鑑みると、日本文化への興味関心を深めることが日本語クラスの履修、及び履修の継続にも繋がるのではないだろうか。

表 5：コースの満足度と価値観学習への興味についての参加者のコメント

コースの満足度		
+5	学生 A	“Yes very much, <u>I love how this is included rather than just the language portion.</u> It makes me feel way more in depth and understanding of what I’m passionate about learning.” (はい、とてもそう思います。<u>言語の部分だけでなく、これが含まれているのがとても好きです。</u> 学ぶことに対する情熱をより深く理解できるように感じます。)
	学生 B	“For sure, and I hope there is more culture implemented into the courses, as <u>culture is just as important as the language is.</u>” (確かにそう思います。そして、コースにもっと文化が取り入れられることを願っています。<u>文化は言語と同じくらい重要です。</u>から。)
価値観学習への興味 Yes: 33 人 (94.3%) vs. No: 2 人(5.7%)		
n/a	学生 F	“It is more fun and interesting to learn more about where a language comes from. <u>It can also make it easier to understand why a language and society works the way that it does.</u>” (言語がどこから来たのかを学ぶのは、より楽しく興味深いです。また、<u>その言語と社会がどのように機能しているのかを理解しやすくなります。</u>)
	学生 G	“<u>Especially regarding Japanese it feels important to learn cultural aspects alongside the language</u> because Japanese culture is so different from my own, that there is a lot of concepts that wouldn't make sense to me without explanation.” (特に日本語に関しては、<u>文化的な側面を言語と一緒に学ぶことが重要だと感じます。</u> というのも、日本文化は私の文化とは大きく異なるからです。説明がなければ理解できない概念がたくさんあります。)

4.3 結果 2：ディスカッションとインタビューの分析

次にクラスでのディスカッションとインタビューから得られた声を紹介する。彼らの意見に多数共通して見られたものとして、言語と併せて、その言語を話す人たちの価値観を学ぶことは、相手とのよい関係の構築に役立つというものだった。学生は、適切な話し方をし、日本社会に溶け込みたいという動機が高く、そのためにこういった価値観を学んでおくことは役立つと考えているようだった。また、文法や語彙、表記などを学ぶこととあわせて、道徳的な価値観を学ぶと、日本語が日本人の考え方を反映させた言語であることがよくわかるため、さらに学んでいきたいという動機に繋がる傾向が見られた。以下は代表的な例である。

- ・将来日本に住んで勉強したり、仕事をしたいと思っている。そのときにこういった日本的な価値観を知っていることは、まわりの人たちと良い関係を築く上で役立っだろう。
- ・これから日本語力が向上するに従い、日本の社会に住む人たちからは適切な話し方をすることが求められる。外国人だから失礼でも仕方がない、と思われることを期待するのではなく、日本人の考え方に沿った話し方を身につけて、うまくコミュニケーションがしたい。そのうえでこういった価値観を知っていることは役立っだろう。
- ・日本語には英語にはない独特の敬語や、丁寧な話し方が存在するが、この授業を通じてその背景が理解できた。今後も様々な価値観を学びたい。
- ・このクラスで価値観を学ぶことを通じて、文法や文字などを学ぶこととあわせて、文化を学ぶというのが大事だということがわかった
- ・絵本や教科書を通じて、子ども達が道徳的価値観を学んでいるかがわかって、それが日本人の考え方に影響していることがわかった。日本語学習者がそういった材料を学ぶことには日本人を理解する上で意義がある。

5. まとめ

本プロジェクトでは、米国の大学2校に在籍する初級日本語コースの学生を対象とし、通常の授業と並行して、日本的な価値観の理解を促す活動を行なった。英語で書かれたオリジナル副教材を用い、クラスでのディスカッションや電子掲示板への投稿を通して、日本社会における「我慢・忍耐」についての理解を深めた。

活動後実施したアンケート、及びインタビュー調査の結果から、言語と同時に価値観を学ぶことで、言語学習の動機が向上するだけでなく日本文化への興味も深まることがわかった。これは、日本語を学習する初期の段階から、言語と併せて価値観を紹介することが、日本文化への興味関心を深めることに貢献し、それがやがて日本語を履修する動機へと繋がる可能性があることを示唆している。学習者は日本人とアメリカ人の考え方や習慣の違いに興味を示していた。また、違いだけではなく、似通った部分にも、興味を示していた。これらの点は、言語のみに焦点を当てているだけでは対応しきれない分野であるため、そういった学習者の気づき、興味・関心に併せて、人々の考え方や習慣の傾向を授業の中で考えていくことにより、日本語をさらに継続して学びたいという動機づけの向上にも繋がる可能性がある。ディスカッションでは、視点の違いを話すときは特に活発な意見交換ができていた。日本的な価値観を学ぶことで、自らの視野を広げることに貢献していたことがわかり、大学教育の目的の1つでもあるクリティカルシンキングを涵養するプロセスとしても、効果的であることを示唆している。

6. 日本語教育への応用

最後に、日本語初級の現場で動機付けを高める要素を組み込むための提案をしたいと思う。

まず、本プロジェクトを実施するにあたり、最大の懸念事項は、言語コースの通常の

カリキュラムを遂行する中で、文化理解に割く時間を新たに捻出するのが難しいという点である。

初級レベルでは、ひらがな・カタカナ・漢字といった新しい文字、単語、文法、テストや小テストなど、言語に直結する課題だけでも膨大な量があり、それらをこなしつつ、文化に特化した活動も実施するには時間が足りないという面があり、限られた授業時間の中で新たな項目として取り入れるには、工夫が必要であろう。

また、語学のクラスとして開講されているからには、語学学習に直結する授業内容であることが履修者からは期待されているが、本プロジェクトのような英語で実施するアクティビティの分量を増やすと、語学学習の時間の減少に繋がるため、言語のみを学習したいという学生にとっては満足度が下がる恐れがある。しかし、初級レベルでは、日本語のみで文化理解のための内容を実施するというのも難しいため、英語の使用は避けられないと思われる。

解決策としては、カリキュラムの達成目標や、所属する機関の教育理念に照らし合わせ、学生の興味・関心にあわせて、適宜分量、内容を調整しながら、文化理解の機会を提供するという方法があるだろう。例えば、少しずつ価値観に関する教材を導入し、学生の反応や理解の度合いを観察・評価しながら、扱う課題の量を調整していくとよいと思われる。

もしくは、教材を日英両言語で準備し、英語で理解した後で、言語レベル的に、また時間的に余裕のある学生は、日本語での学習に挑戦してみることもできるだろう。

7. 今後の展望

今後は学習者の動機付けの変容を長期的に調査し、レベルごとに学習動機にあわせたカリキュラムを作成し、履修者数増加へ繋げたいと思う。さらに、日本の価値観を言語と併せて学んだ学習者と、言語のみが中心である従来どおりの形で学んだ学習者を比較し、その後のコースを継続して履修するかどうかの差を比較してみることも必要であろう。価値観の学習が、日本語履修者数の増加という面で、よい影響をもたらすことを期待しつつ、今後も継続して本プロジェクトを行っていききたい。

注

1. ミャンマーで話されている言語。
2. Wei, M., Fukada, A., Ishii, M., Kadowaki, Y., Kuo, Y. K. Matsumoto, K. et al. (2021). Learn Japanese Online: Elementary I. Online Publication, Purdue University.

参考文献

- 国際交流基金 (2022) 『2021 年度 海外日本語教育機関調査報告書』
<https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/result/dl/survey2021/all.pdf> (2023 年 6 月 1 日アクセス)
- Lusin, L., Peterson, T., Sulewski, C. and Zafer, R. (2023). Enrollments in languages other than English in US institutions of higher education, Fall 2021. Modern Language Association of America. (November, 2023)
<https://www.mla.org/content/download/191324/file/Enrollments-in-Languages-Other-Than-English-in-US-Institutions-of-Higher-Education-Fall-2021.pdf> (accessed November 15, 2023)

- Quinn, R. (2023). Foreign language enrollment sees steepest decline on record. Inside Higher Ed. (November 16, 2023) <https://www.insidehighered.com/news/faculty-issues/curriculum/2023/11/16/foreign-language-enrollment-sees-steepest-decline-record> (accessed July 23, 2024)
- Fischer, K. (2023). It's a bleak climate for foreign languages as enrollments tumble. The Chronicle of Higher Education. (November 15, 2023) https://www.chronicle.com/article/its-a-bleak-climate-for-foreign-languages-as-enrollments-tumble?emailConfirmed=true&supportSignUp=true&supportForgotPassword=true&email=yumit9%40gmail.com&success=true&code=success&bc_nonce=0imkhc8qxjakfsuw6knka2t (accessed November 15, 2023)

資料

付録 1： オリジナル副教材の例 (抜粋)

Gaman (我慢) and Nintai (忍耐) chapter: Part 1

In Japan, we often hear the words *gaman* (我慢) and *nintai* (忍耐). These words may be translated as “patience,” “endurance,” or “perseverance” in English. While *nintai* is equivalent to “patience,” *gaman* does not correspond to any single English word. Both *gaman* and *nintai* are derived from Buddhist terms. According to Tsujimoto’s (2008) “Buddhist Lexicon of Daily Life,” *gaman* is the belief in seeing "myself" at the center, relying on one's ego to elevate oneself while looking down upon others. On the other hand, *nintai* (忍耐) is called *ninniku* (忍辱) in Buddhist terminology and is one of the Six Perfections (六波羅蜜) in Buddhism. Both...(cont'd)

(中略)

Gaman (我慢) and Nintai (忍耐) chapter: Part 2

Interview 1

Japanese Male (55 years old)

When I hear the word *gaman*, the first episode that comes to my mind is the experience of working for a new hotel as a manager two years ago. I was hired as a hotel manager to open a new hotel branch in central Osaka. This company already had three mid-sized hotels in the Kansai region, and they wanted to open a fourth in central Osaka. I was hired as a manager of this new hotel three months before opening day.

(中略)

Interview 2

Third-Generation Brazilian Japanese Female (24 years old)

I am a third-generation Brazilian Japanese. My father is a second-generation Brazilian Japanese, born and raised in Brazil, and my mom is Brazilian. After my parents got married, they moved to

Japan. I was born and raised in a community in Mie Prefecture, which is heavily populated by immigrants from South America (about 15% of all residents are foreign, among whom 10% are Brazilian). My younger brother is now 19 years old. He graduated from the same public high school as mine and is working as a full-time construction worker in Mie Prefecture. I moved on to a university in Nagoya, and upon graduation, I was offered a full-time position in the international office of my university. My job is to look after international students and arrange cultural events every semester.

(中略)

Gaman (我慢) and Nintai (忍耐) chapter: Part 3

我慢 Gaman (Patience) in Daily Life

There are many phrases describing “patience” in Japanese. 我慢 (*gaman*), 忍耐 (*nintai*), which means “patience” but also “endurance” or “tolerance,” 耐える (*taeru*), 耐え忍ぶ (*tae shinobu*), こらえる (*koraeru*), and 辛抱する (*shinbo suru*), which all refer to being patient.

In Japanese discourse, numerous instances can be found in which the notions of 我慢をする (to endure) and 我慢をさせる (to compel endurance) are prominently featured. Presented below are illustrative examples of such occurrences.

(中略)

Gaman in Children’s Stories

The notion of *gaman*, or “patience” and “endurance,” is also present—implicitly or explicitly—in children's literature. The following two children's books, *Tsukiyo no 3 biki* [The Three Cubs in the Moonlight] and *Nee dakko shite* [Give me a hug / Pick me up] are popular works available in the picture book section for kindergarten-aged children at local libraries. The third book, *Koko o hashireba* [If the car used this lane], is a story used in a sixth-grade moral education textbook.

(後略)

付録 2： 電子掲示板 (Canvas) に用意された質問リスト

我慢ディスカッション 1 回目

Read the reading material, '*Gaman and Nintai*,' and answer the following Content and Discussion questions. Then, post your answers/opinions by replying to my post.

Content Questions

- ・ What does *nintai* mean?
- ・ What are the three meanings of *gaman*?

- Why do fewer Japanese women use epidurals during labor compared to women in the US and France?

Discussion Questions

- Do you agree with the Japanese phrase 我慢は美德 (Patience is a virtue)? Why or why not?
- Imagine that you are at a business meeting in Japan. Everyone is wearing masks, although it is optional. Would you wear a mask? Why or why not?
- In August 2020, the 80th Annual Sturgis Motorcycle Rally took place in Sturgis, South Dakota. More than 450,000 people participated in this 10-day event despite the COVID-19 pandemic. Masks were not required, and social distancing was not widely practiced. Yet vaccines were not yet available. Why do you think these people did not stay patiently at home?

我慢ディスカッション 2 回目

Read the reading material, '*Gaman* and *Nintai*,' and answer the following Content and Discussion questions. Then, post your answers/opinions by replying to my post.

Content Questions

- Answer the following questions based on Interview #1.
- What sort of *gaman* did he do in relation to his boss, his subordinates, and his workload?
- What incident made him decide to quit the job?
- Answer the following questions based on Interview #2.
- How is the Brazilian concept of *gaman* different from Japanese *gaman*?
- Thanks to *gaman*, she was able to enter a good university and get a good full-time job; however, she thinks that Japanese *gaman* is too much. Why does she think so?

Discussion Questions

- If you were the man in Interview #1, would you quit your job? Why or why not?
- Hiroshi is a father of three. He works for a company, while his wife is a homemaker. His job pays him well, but his boss is thoroughly unpleasant. If you were Hiroshi, would you quit the job and look for another one? Or would you continue working patiently under the same boss?
- Emi is a social media influencer with a million subscribers. While she has many fans, she also has some haters who always make negative comments about her appearance and personality. She puts up with those messages because she does not want to stop doing what she does best. What would you do if you were in her shoes? Offer suggestions.

我慢ディスカッション 3 回目

Read the reading material, '*Gaman* and *Nintai*,' and answer the following Content and Discussion questions. Then, post your answers/opinions by replying to my post.

Content Questions

- Answer the following questions based on *Gaman* (Patience) in Daily Life.
- How does the mother in Example 1 respond to her son who complains about being hungry?
- How does the teacher in Example 2 respond to the students who express their discomfort?
- In *Nee dakko shite*, the cat is very happy about the new-born baby.
- In *Koko wo hashireba*, the son's urgency to reach his ill father leads him to drive along the shoulder, despite it being against traffic rules.
- What are the expectations of being older siblings in Japan?
- What is the lesson of *Koko wo hashireba*?

Discussion Questions

- Tomoko has two sons: Ichiro and Jiro. Ichiro is 10 years old, while Jiro is 9 years old. When they have a fight, Tomoko tells Ichiro, “お兄ちゃんなんだから我慢しなさい！
Onīchan nanda kara gaman shinasai! (You should be patient because you are his elder brother.). Why do you think Ichiro and Jiro's mother says this to her elder? If you had children the same age, how would you intervene in a fight between them?
- In *Nee dakko shite*, if the cat were the older sibling, do you think she should still wait for her mother to hug her? Why or why not?
- You are driving on a highway, heading to the hospital after you heard that your grandmother is in a coma. You want to get to the hospital as fast as possible because you want to see her in case she might pass away. While you are sticking to the speed limit, many cars are passing you. In this situation, would you break traffic rules and exceed the speed limit or patiently follow the rules?

電子掲示板の例

This is a graded discussion: 10 points possible

 Culture—Gaman and Nintai Chapter #1
Karen Matthews Carroll

Gaman and Nintai Chapter Part 1

[Gaman and Nintai chapter Part1-1.pdf](#)

Read the reading material, 'Gaman and Nintai', and answer the following Content and Discussion questions. Then, post your answers/opinions by replying to my post. ***You will see classmates' posts after you post.

Content Questions

- What does nintai mean?
- What are the three meanings of gaman?
- Why do fewer Japanese women use epidurals during labor compared to women in the US and France?

Discussion Questions

- Do you agree with the Japanese phrase 我慢は美德 (Patience is a virtue)? Why or why not?
- Imagine that you are at a business meeting in Japan. Everyone is wearing masks, although it is optional. Would you wear a mask? Why or why not?
- In August 2020, the 80th Annual Sturgis Motorcycle Rally took place in Sturgis, South Dakota. More than 450,000 people participated in the 10-day event despite the COVID-19 pandemic. Masks were not required, and social distancing was not widely practiced. Yet vaccines were not yet available. Why do you think these people did not stay patiently at home?

Q Search entries or author Unread  

⏮ Reply

0 

- Nintai corresponds to "justice" in English
- The 3 meanings of "Gaman" that were given are: holding arrogance, stubbornness, and endurance.
- There is pressure to endure the pain of child birth, and considered necessary to correctly bond with your child

Discussion:

- I agree with this phrase, and I believe patience is a very important moral to practice. Without it we will give into every temptation we feel and live with less self control, which to me is important to living a fulfilling life.
- I would definitely also wear a mask, because in that situation I wouldn't want to draw attention to myself. I don't mind wearing a mask so it is a lot easier for me to participate in that than to cause a commotion over something I don't even care about.
- I think it is because in America there are large societal values on individualism and breaking the mold, and not doing what everyone else is doing just because everyone else is doing it. Also there isn't nearly as much emphasis on patience or endurance. Endurance is only really discussed when referring to achieving personal goals.

⏮ Reply

0 

I think you have a really good point with number 3. America does have a "free" and very individualistic culture. But they also do have strong help your neighbor values. So the mix of values makes it confusing at times. But I think that America has too strong of a need to endure things and just get to the next step at some point and hope it better.

⏮ Reply

0 

I agree with everything you said. Patience is super necessary in so many aspects, including giving into temptation but also dealing with others during disagreements and persevering through tough times.

⏮ Reply

0 

I agree with you that patience is a very important moral to practice! I also agree about not wanting to draw attention to yourself for not wearing a mask!

⏮ Reply